

図書だより



令和3年12月21日発行
明和県立高等学校図書室



図書室から

先月の読書週間は図書室に多くの生徒が来館してくれました。手作りのガチャガチャで行った抽選会も楽しんでもらえたでしょうか。初めて図書室に来たという生徒や、その時の続きの本を借りに来る生徒など、みなさんが積極的に図書室を利用する姿も見られてとても有意義な期間となりました。これを機会にぜひ今後も図書室に足を運んでみてくださいね。

図書返却のお願い



期限を過ぎている本は返却を
とくに3年生は、早めの返却を心がけてください。現在本を借りている人には、後日通知がいく予定です。確認のうえ卒業までに全ての本を返すようお願いいたします。

冬休み特別貸出

- 貸出冊数 1人10冊まで
- 貸出期限 1月18日(火)



新着図書紹介

『透明な螺旋』

東野圭吾著、文藝春秋

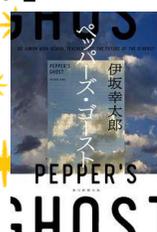
今、明かされる「ガリレオの真実」。「愛する人を守ることは罪なのか」。シリーズ最大の秘密が明かされる。



『ペッパーズ・ゴースト』

伊坂幸太郎著、朝日新聞出版

中学校教師の壇には、ある条件下で他人の明日が少しだけ観(み)える特殊能力があった。未来と過去は絡まり、物語は加速していく。



『ミカエルの鼓動』

袖月裕子著、文藝春秋

手術支援ロボット「ミカエル」を操る天才外科医に託された少年の命。この者は、神か、悪魔か。天才心臓外科医の正義と葛藤を描く。



『認知症世界の歩き方』

寛祐介著、ライツ社

なかなか理解してもらえずに困っていた「認知症のある方」が実際に見ている世界がスケッチと旅行記の形式で、すごーくわかる！まるで「ご本人の頭の中を覗いているような感覚」で、認知症のことを楽しみながら学べる一冊です。



『すばらしい人体』

山本健人著、ダイヤモンド社

人体の構造は、非常によくできている。健康情報として医学を取り上げるのではなく、サイエンス書、教養書として、人体の面白さ、医学の奥深さを伝え、読者の知的好奇心を満たす一冊。



『スマホ脳』

ハンセン著、新潮社

ジョブズはわが子にiPadを与えなかった?! うつ、睡眠障害、学力低下、依存症……最新の研究結果があぶり出す恐るべき真実。教育大国スウェーデンを震撼させ、社会現象となったベストセラー、日本上陸。



『批評の教室』

北村紗衣著、筑摩書房

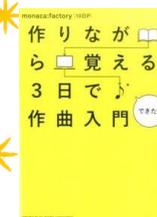
批評はなによりも、作品を楽しむためにあります。本書では、批評を「精読する」「分析する」「書く」の3つのステップに分けて、そのやり方を解説していきます。



『作りながら覚える3日で作曲入門』

モナカファクトリー著、ヤマハ

はじめての人も、挫折した人も! 人気作曲家が教えるやさしい曲作りのしくみ。理論から始めない新しい作曲本。



『民王 シベリアの陰謀』

池井戸潤著、KADOKAWA

人を凶暴化させる謎のウイルス。止まらぬ感染拡大、陰謀論者の台頭で危機に陥った、第二次武藤泰山内閣。泰山は国民を救うべく、息子の翔、秘書の貝原とともに見えない敵に立ち向かう。



『Zoom (ズーム) 目指せ達人基本&活用術』

マイナビブックス

シリーズ最新刊

『ちはやふる』『かがみの孤城 コミック版』

『やはり俺の青春ラブコメはまちがっている。』

『ソードアート・オンライン』

クリスマス特集



図書室の展示は現在“クリスマス特集”です。いただいたモミの木のアレンジメントやかわいいポンポンのリースなどもクリスマスの雰囲気盛り上げて来ています。